

分野：②

「プールのヤゴを救出しよう」

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立清進小学校 4年（110人）

所要時間



120分

場所 所沢市立清進小学校プール

実施時期

令和3年4月28日

概要

プールのヤゴを救出しよう

プールにはトンボのヤゴがたくさん棲んでいるが、水泳指導を行う前に、水を抜き清掃するとヤゴは全て流され死んでしまう。水を減らしたプールに入り、網でヤゴを救い分別し、水辺のビオトープや水槽、家に持ち帰って育てる。

プログラムの
ねらい

学校の水泳指導を行う前に、プールの水を抜き清掃するが、前年の夏からトンボが卵を産み、ヤゴになり羽化する前に流され全て死んでしまう。清掃前に水を減らしたプールに入り、網でヤゴを救い、種類ごとに分け、水辺のビオトープや水槽、各家庭でトンボになる様子を観察し、地域の自然を学ぶ。

プログラムの内容

3クラスなので各クラス30分で実施

1 活動内容の説明（5分）

救出したヤゴを大・中・小に分ける

2 プールのヤゴを救出（20分）

ヤゴがどこに隠れているのか、よく観察してから網で救い、プールサイドの容器に大きさに分けて入れる。

救出したヤゴは、水辺のビオトープと教室の水槽、家に持ち帰る人は容器に入れて持ち帰り、その後の経過を観察する。



受講者の反応

ヤゴを見るのが初めての子がほとんどで、最初は怖がったり気持ちが悪いと言って、手で持てない子がいましたが、慣れると上手に掬えて大喜びでした。

ヤゴがプールのどこに隠れているのかわからなかったのですが、上手に掬えることができました。教室の水槽で育てているヤゴが大きくなり、羽化してトンボになることを楽しみにしています。